

○ミスみなと一日所長



左：「海の女王」伊藤笑子さん

12月16日、毎年恒例となった、愛知県三河港務所、愛知県企業庁三河港工事事務所、当事務所の三官署合同安全パトロールが行われ、今年の「ミスみなと」に選ばれた「港の女王」「船の女王」「海の女王」の3女王が同行事に参加し、華を添えました。

午前中は3人の女王が各官署を訪れ、一日所長として文書決裁、所内の巡回を行いました。午後からは3官署それぞれの工事現場を訪れ、担当者から工事の概要説明を受けた後、現場作業員を前に「建設作業における労働災害は一瞬の

スキに起こるもの、日頃の安全点検が重要」と訓示し、現場代理人に「チェックリスト」を手渡しました。

当事務所を担当していただいたのは「海の女王」伊藤笑子（えみこ）さんで、三河港の状況や日頃入ることのない港の現場を見ることができ、とても勉強になったと喜ばれていました。



現場視察のミスみなと

左：「港の女王」伊藤瑞子さん

中：「港の女王」山本彩さん

右：「海の女王」伊藤笑子さん

★なるほど三河湾★ 豊川（とよがわ）にガントリークレーンを発見！～港湾技能研修センター～

皆さん、国道23号の豊川（とよがわ）付近をドライブしていると、ホテルの隣に赤と白の模様のような大きな鶴の形をした物体を見かけたことはありませんか？それは、「港湾技能研修センター」に設備されているガントリークレーンです。今回はこちらの施設についてご紹介します。

本センターは、昭和63年5月に設置され、(財)港湾労働安定協会が運営を行っており、ガントリークレーンやストラドルキャリアー操作など、港で働く方々の技能研修を行っています。

本センターのガントリークレーンの研修は、1月から3月の間、強風のため行わないとのことでした。しかし、実際の三河港では季節を問わずクレーンの荷役は行われており、高い技能を有した方々により港の活動が支えられていることが理解できます。

■港湾技能研修センター案内図



本センターの詳細は下記のHPを参照して下さい。

★港湾技能研修センターHPアドレス★

<http://www.anteikyokai.or.jp/ginoukensyu.htm>



ガントリークレーンの高さはこんな感じ！

☆お知らせ☆

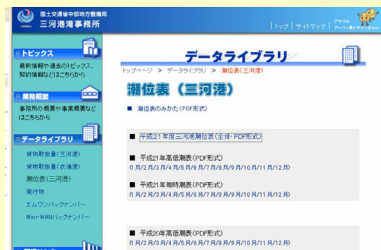
平成21年三河港潮位表をホームページにアップしました

潮位表には三河港における満潮と干潮の時刻と潮位、毎正時ごとの潮位が掲載されています。

台風による高潮や津波などの異常な気象の影響は考慮していないため、時には相当の偏差を現わすことがありますが、釣りや潮干狩り等の参考にしていただければと思います。是非ご活用下さい。

三河港湾事務所HP <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

★ ホームページで、Mini-WANバックナンバーをご覧いただけます★



2009年1月号 Mini-WAN

～三河港湾事務所より～

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.23)



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

■巻頭コラム

■最近のトピックス

○第12回「伊勢湾・三河湾を考える会」開催

○港湾空港部RP訓練実施 ○国際自動車コンフレックス研究会が報告総会を開催

○管内事業報告会 ○美浜・南知多のまちづくりを考えるワークショップ

○三河港防波堤（北）が90m伸びます！ ○ミスみなと一日所長

■なるほど三河湾・・・豊川（とよがわ）にガントリークレーンを発見！

■お知らせ・・・平成21年三河港潮位表をホームページにアップしました

☆巻頭コラム☆

三河港湾事務所長 塩田 昌弘

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

非常に寒い日が続きますが、渥美半島で春の気配を感じて参りました。1月10日から始まった「菜の花まつり」です。まつり会場の周辺では、至る所で黄色い菜の花が目を楽しませてくれ、菜の花狩り（5本で100円！）も体験してきました。電照菊やメロン（「メロン狩り」というものが存在することは、豊橋に赴任するまで夢にも思いませんでした。）などが有名で、農産物生産額全国1位を誇る田原市ならではのイベントと感じています。



太平洋側の眺め

また、渥美半島先端に位置する伊良湖

岬からは、三河湾、太平洋、三重県方面と3方向の景色が堪能できます。岬の近くには伊良湖港があり、知多半島や伊勢志摩方面への船の玄関口となっています。夏休みに鳥羽行きのフェリーに乗った際は、途中イルカの群れにも遭遇するという幸運に巡り合いました。鳥羽からは伊勢神宮へのアクセスもよく、また、伊勢神宮では、20年に一度の式年遷宮が平成25年に予定されているため、伊良湖港の役割も期待される所です。

一昨年4月の着任以来、三河のゆとり、優しさに何度も触れました。忙しい世の中ですが、心のゆとりを忘れないようにしたいと思います。今後とも愛読のほどよろしくお願いいたします。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局

三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>
E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

○第12回「伊勢湾・三河湾を考える会」開催

12月3日、「伊勢湾・三河湾を考える会」がウエスティンナゴヤキャッスルにて開催されました。この会議は「伊勢湾・三河湾ならびに沿岸地域が将来においても発展を遂げていくため、幅広い視野から相互に連携して、地域づくりを検討する」ことを目的に組織された会で、今回で12回目の開催になります。

第1部として、丸紅経済研究所の美甘副所長より「転換期を迎えた世界経済と資源問題」と題して特別講演があり、原油や食糧など資源問題に関しての話題提供がありました。第2部では「エネルギー・食料・水問題からみた中部の未来」と題し、関連する国の機関（東海総合通信局・東海農政局・中部経済産業局・中部地方整備局・中部運輸局）の局長と経済界の代表が一同に会してのパネルディスカッションが行われました。コーディネーターの松尾稔氏（（財）科学技術交流財団理事長、（財）名古屋都市センター理事長）の進行のもと、直近の世界動向を踏まえ、中部の継続的な発展に向けた今後の対応策などについて意見交換がなされ、最後に「各局・経済界が連携をして課題解決に向け議論・情報交換を行う場を持つ」ことを確認して閉会しました。



会議の様子

○港湾空港部RP訓練実施

12月9日、東海地震発生時の災害応急対応についてのロールプレイング（RP）方式の訓練を実施しました。本訓練は本局港湾空港部、四日市港湾事務所、当事務所の3カ所をテレビ会議でつないで行いました。



訓練の様子

訓練は、休日に震度6弱の地震が発生したという想定で、職員の安否確認、庁舎・機材の点検確認、情報の収集伝達、港湾施設の点検等を実施しました。

今回の訓練を通じて、いくつかの反省点が見つかりました。今後、事務所BCP（事業継続計画）の作成にあたり、反省点を改善できるよう十分考慮しながら検討を進めていきます。

○国際自動車コンプレックス研究会が報告総会を開催

12月10日、豊橋市民センターにおいて国際自動車コンプレックス研究会の第10期報告総会が開催されました。国際自動車コンプレックス研究会とは「自動車コンプレックス計画に基づき、港湾・道路等基盤整備事業の推進活動や自動車産業に関する諸研究機関との連携による研究・事業推進活動、防災等に対応した企業活動維持に関する研究事業」などを行っている組織です。

今回開催された報告総会後に記念講演会が開催され、国際港湾協会の井上聰史事務総長より「国際的な港湾の動向と展望」と題した講演がありました。講演では、アジア、ヨーロッパ諸港での大規模開発、臨港部だけでなく内陸部まで含めた港湾戦略、安全面、環境面にも配慮した質の高い港湾の形成について紹介いただくと共に、我が国の港湾の今後の展開へのアドバイスなど、とても興味深い内容でした。

三河港においても東アジアの各国の港湾と連携しながら、その中において三河港の特徴を最大限に活かせるよう、今後の機能向上を検討していきたいと思ひます。



井上事務総長のご講演

○管内事業報告会

12月4日、名古屋ポートビルにて、第42回中部地方整備局港湾空港関係事業報告会が行われました。

当事務所からは、航路管理課松永係長が「“豊饒な海・三河湾”を目指して～新たな干潟・浅場造成材の検討～」と題した発表を行いました。内容は、当事務所が三河湾の環境改善を目的として進めている干潟・浅場等の造成材の検討状況に関するもので、見事、今年度の優秀論文賞を獲得しました。



発表する当事務所松永係長

○美浜・南知多のまちづくりを考えるワークショップ

12月16日、美浜町図書館において「美浜・南知多のまちづくりを考えるワークショップ」が開催されました。このワークショップは、“地域が連携をして、みなと（海）を活かしたまちづくり”をすすめていくことを目標に、地元の方々が中心となって平成19年11月より開催されており、今回で5回目になります。



ワークショップの様子

今回は昨年度に引き続き、（株）地域活性プランニング代表取締役の藤崎慎一氏をファシリテーター※に迎え、各地区で取り決めた“行動計画”の実践結果の報告及びグループディスカッションを行いました。当事務所としても、それぞれの地域の方々が主体になり持続的に活動していく仕組みづくりや、各地区が連携することにより臨海部地域の振興が深まるような支援を行っていききたいと思います。

※中立な立場を保ちながら話し合いに参加し、合意形成に向けて深い議論がされるよう調整する人

○三河港防波堤（北）が90m伸びます！

現在、三河港入り口にある防波堤（北）の工事を行っています。

防波堤は波をくい止め、港内で船を安全に係留させる役割を担っています。右側の写真で、防波堤がある箇所は港内側には、波が立っていないことがわかりかと思ひます。

本年度の工事で90m分延伸され、防波堤（北）は全体で約2,050mとなります。この防波堤はケーソン（コンクリートの箱）式です。ケーソンは直方体のものが多いですが、三河港ではよりコストを縮減できて丈夫な、底面が大きい逆T字型をしたケーソン（バットレスケーソン）を使っています。

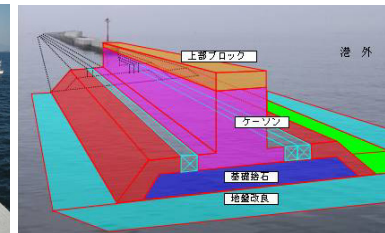
ケーソンは、据え付けてしまうと海面上数十センチしかないため小さく見えますが、海の中には大きくて丈夫なものが座っています。



ケーソン据付状況



防波堤（北）工事状況 奥側が延長工事分



防波堤のイメージ



港外側と港内側での波の状態の比較